

# 野の花

2014年度 年間聖句  
これらすべてに加えて、愛を身につけなさい。  
愛は全てを完成させるきすなです。  
(コロサイの信徒への手紙 3章 14節)



平和学園小学校  
PTA 広報第98号  
2015年3月発行

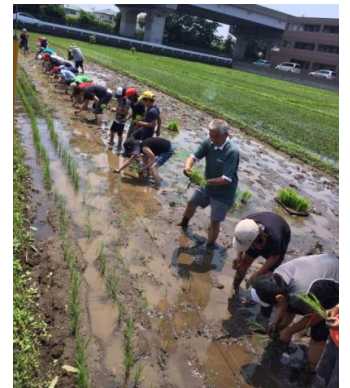
## 田んぼの学習

毎年平和の4年生は、初夏に田植え、秋に稲刈り、そして3学期が始まるとすぐに収穫したもち米でお餅つきをし、学校全体にお餅を振る舞います。

今年も平和学園OBのOさんご指導・ご協力のもと、4年生がこの一連の流れを体験しました。田植えと稲刈りの後はOさん宅のお庭でお弁当タイム。Oさんの畑で他の作物を見たり、苺狩りをしたり、ここでもまた楽しい時間を過ごすことができたようです。Oさんご夫妻にはいくら感謝の言葉を重ねても足りないくらいです。

6月下旬、田植えの時期を迎えました。まずはOさんが田んぼの歩き方、稲の植え方などを説明してくださり、それから子供達が田んぼに入ります。今年の田んぼは少し深めのように、子ども達の膝下近くまでずぼずぼ沈みます。

田んぼに横一列に並び、横に渡されたロープに沿って植えていきます。一列全員が植え終わると、横に張ったロープを後ろにずらした植える---これを繰り返します。最終列まで植え終わり、泥んこになった手足をアメンボも泳ぐ用水路で洗って本日の作業は終了。用水路で半身浴をした(?)子もいたようです。



10月も終わりに近づいた頃、いよいよ稲刈りです。田植えの時は緑だった田んぼも一面茶褐色です。Oさんに鎌の使い方を教えていただき、2人1組になって交代交代で稲を刈ります。片手で稲の根元を握り、そのすぐ下に鎌を当てます。みんな鎌を持ったのは初めてだったのでは？

刈ったばかりの稲は暫くの間Oさん宅で干して頂き、その後4年生が学校で千歯扱きで稲から籾を外し、機械を使わず手作業で脱穀しました。



そして、田んぼの学習の集大成ともなる「お餅つき」が1月20日に行われました。4年生は前日から買い出しに行ったり、用具を出したり、お米を研いだり準備をしました。お餅つき当日は、まずかまどに火を入れるところから始めました。お米が蒸かし上がったそれを臼に移し、背丈よりも長い棒でこね、そしていよいよ杵の登場。重い杵を振り上げ、「ヨイショーッ！」とお餅の真ん中を狙って下ろすのは意外と難しく、何度やってもお餅の端にしか杵が当たらなかったり、臼の縁に当たってしまって杵と臼の両方がささくられたように削れてしまったこともありました。また力が上手く入らなかったり、お餅つきの難しさを身をもって味わいました。年末年始によくテレビで見えるお餅つきの映像のようにできるには、やはり経験と年季が必要なのですね。

ついたお餅は、4年生が思考を凝らした創作料理となって学校全体に振る舞われました。毎年人気なのはカラムーチョと磯辺だとか…。

